

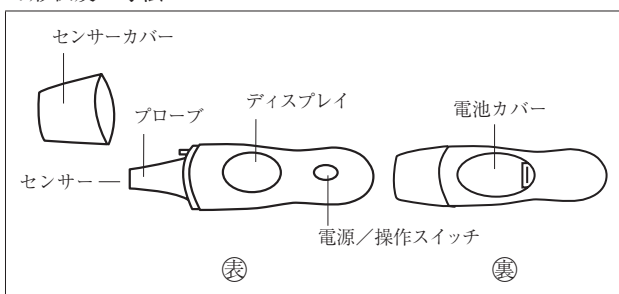
ファミドック

【禁忌・禁止】

- ・子供だけで使わないこと。[けがの可能性ある]
- ・耳に使用する際は、外耳炎、中耳炎等、耳に病気があるものには使用しないこと。[無理に挿入すると、症状を悪化させる可能性がある]
- ・引火性のある環境で使用しないこと。[引火又は爆発を誘発する可能性がある]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状及び寸法



寸法: 厚さ23.5mm×幅32.5mm×高さ114.0mm

2. 構成部品及び材質

本品(1個/箱)は以下から構成される。

- 1)ファミドック本体(外装:ABS樹脂)
- 2)センサーカバー(ABS樹脂)
- 3)付属品:スタンド(ポリカーボネート)

3. 電氣的定格及び分類

定格電源電圧(供給電圧/周波数)	DC 3V
電撃に対する保護の形式による分類	内部電源機器
電撃に対する保護の程度	BF形装着部を持つ機器

4. 使用する電池

市販のコイン型リチウム電池: 直径20mm×厚さ3.2mm
CR2032型 1個

5. 品目仕様等

- ・温度測定範囲:(測定部位:額を含む皮膚/耳道)
皮膚測定時:20~42.9℃(32℃以下は“Lo”と表示される)
耳道測定時:32~42.9℃
- ・温度測定精度
35.5℃以上 41.0以下:±0.2℃
35.5℃未満:±0.3℃
41.1℃以上:±0.3℃
- ・周囲環境:
作動温度:16~40℃
作動湿度:95%未満
保管温度:-20~50℃
保管湿度:95%未満
- ・低電圧変動:
皮膚:低電圧警報表示状態直前の電圧2.7Vでも機器は作動すること
- ・ディスプレイとインターフェイス
最小表示単位:0.1℃

6. 原理

物体が持つ熱エネルギーは、可視光線や赤外線などの電磁波として放射される。この放射された電磁波の放射量(放射エネルギーの強さ)から物体の温度を算出できることを利用して、その物体の持つ温度を測定することができる。

できる。このような放射感知型の温度計の利点は、非接触で短時間での測定が可能である。人体表面からも、5~14μmの波長の赤外線が放射されている。本品は赤外線を検知することのできるセンサーにより、人体から発せられる赤外線の放射量を、非接触かつ短時間で感知する。感知した赤外線の放射量は体表面温度(耳道温度)に換算されて表示される。換算を行う際は、環境温度を考慮した補正を行うことにより、環境温度に左右されず体表面温度(耳道温度)を換算することができる。

【使用目的又は効果】

体表面上の皮膚の体温を測定するために用いること。また、人の鼓膜及びその周辺の赤外線を検知することによって当該部位の温度を測定することにより、体温を測定し、デジタル表示すること。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1)電池カバーを外し、市販のコイン型リチウム電池:直径20mm×厚さ3.2mm(CR2032型)をセットする。
- 2)時刻設定スイッチを操作して現在時刻を設定する。
- 3)センサーが汚れていないか確認する。
- 4)電源/操作スイッチを押して、アラーム音が鳴るのを確認する。

2. 使用中の操作

- 1)皮膚温度測定モードで使用する場合は、センサーカバーを取り付けたまま、測定部位にプローブを密着させ電源/操作スイッチを押して、アラーム音がしたら測定は終了し温度が表示される。
- 2)耳道温度測定モードで使用する場合は、センサーカバーを外して耳道にプローブを挿入し、電源/操作スイッチを押して、アラーム音がしたら測定は終了し温度が表示される。
- 3)測定が終了したら、約30秒後に自動的に電源が遮断される。

3. 使用後の処置

- 1)使用後に、柔らかい布等で清拭する。センサーが汚れているときは、水で湿らせた綿棒等で清拭してから乾燥させる。
- 2)低電圧警報がディスプレイに表示された場合は、コイン型リチウム電池の交換を行う。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ・電池、本体、センサーカバー及びスタンドは幼児の手の届かない場所に置くこと。[けがのおそれがある。]
- ・破損したものは使用しない。[けがのおそれがある。]
- ・本体に激しい衝撃などを与えないこと。[故障の原因になる。]
- ・携帯電話など、強い静電気や電磁波を発生するものに近づけないこと。[誤作動や故障の原因になる。]
- ・指定以外の電池を使用しないこと。[故障の原因になる。]
- ・分解・修理・改造は行わない。[故障の原因になる。]

2. 使用方法に伴う使用上の注意

- ・子供だけで使わないこと。[けがのおそれがある。]
- ・耳、おでこ、わきの下などの平熱をあらかじめ検温しておくこと。[個人差により、耳とわきの下の体温が約1℃異なることがある。]
- ・飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せずに30分ほど待ってから検温すること。[測定値が高く出

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ることがある。]
- ・水枕などを耳にあてていた場合など、耳が冷やされているときは30分ほど待ち、耳の冷えが取れてから検温する。[測定値が低めに出ることがある。]
- ・暖房機などのそばで温風が耳に直接あたるところでは検温しない。[測定値が高く出ることがある。]
- ・耳の中が汚れている場合は、綿棒などで清掃してから検温する。[測定値が低めに出ることがある。]
- ・同じ耳の方で検温すること。[個人差により左右の耳で測定値が異なるため。]
- ・いつも一定の向き・深さで検温すること。[場所により測定値が異なるため。]
- ・検温終了ブザーが鳴るまで、体温計を動かさないこと。[測定値が異なるため。]
- ・プローブが汚れているときには、乾拭きをしてから検温する。
- ・センサーカバーは、無理な力ではずさない。[破損の原因になる。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- ・下記条件にて保管すること。

周囲温度	-20～50℃
相対湿度	95%未満（結露しないこと）

- ・汚れ及び水分を完全に除去してから保管すること。
- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- ・長期間使用しない場合は、電池を取り出して保管すること。

2. 使用期間の目安

3年 [自己認証による]

【保守・点検に係る事項】

- ・水洗いしないこと。[本品は防水構造ではないため、故障の原因になる。]
- ・本品の汚れがひどい場合は、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ること。
- ・シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないこと。[有機溶剤を使用した場合、本品の破損や故障の原因になる。ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがある。]
- ・ドライヤー等を使用して乾燥させないこと。[本品が破損する可能性がある。]
- ・本書に記載の保守点検に係る事項、保管方法、使用上の注意等を守らないことに起因する本品の故障や破損に対して、当社は責任を負うことができない。
- ・廃棄の際は、産業廃棄物として使用地域の自治体の規定に従い処理をすること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

- **
* 1. 製造販売業者 原沢製薬工業株式会社
住所 〒108-0074
東京都港区高輪三丁目19番17号
TEL 03 (3441) 5191
2. 製造業者 Famidoc Technology Co., Ltd.
／ファミドックテクノロジー（中国）